

2021年度 学修成果に関する アンケート調査結果報告

IR室

2021年度学修成果アンケート結果

■調査対象

- 2021年度在籍学生全員(1,009名、3月末時点)

■調査方法

- 湘北ポータルでURLを送付し、パソコン・スマホを利用してGoogle Formで回答を受け付ける

■調査時期

- 2022年3月11日～同3月31日

■回答数

- 回答数546、在籍学生数1,009 回答率 54.1%

2021年度学修成果アンケート結果

■2年生回答数

学科	回答人数	在籍数	回答率
総合ビジネス・情報学科	114名	222名	51.4%
生活プロデュース学科	53名	120名	44.2%
保育学科	74名	144名	51.4%
計	241名	486名	49.6%

■1年生回答数

学科	回答人数	在籍数	回答率
総合ビジネス・情報学科	134名	253名	53.0%
生活プロデュース学科	100名	145名	69.0%
保育学科	71名	125名	56.8%
計	305名	523名	58.3%

回答数内訳(2年生)

学科	コース・フィールド	回答数
総合ビジネス・情報	ビジネス情報	36
	経理・金融	10
	ショップマネジメント	8
	オフィスワーク	20
	観光ビジネス・観光	18
	観光ビジネス・留学	2
	プログラミング	5
	メディアデザイン	15
総合ビジネス・情報 集計		114
生活プロデュース	ファッション	9
	フード	8
	インテリアデザイン	10
	子どもサービス	10
	医療事務・情報	16
生活プロデュース 集計		53
保育	保育	74
総計		241

回答数内訳(1年生)

学科	コース・フィールド	回答数
総合ビジネス・情報	ビジネス情報	54
	経理・金融	12
	ショップマネジメント	7
	オフィスワーク	25
	観光ビジネス・観光	13
	観光ビジネス・留学	1
	プログラミング	7
	メディアデザイン	15
総合ビジネス・情報 集計		134
生活プロデュース	ファッション	19
	フード	20
	インテリアデザイン	8
	子どもサービス	17
	医療事務・情報	36
生活プロデュース 集計		100
保育	保育	71
総計		305

調査結果の活用・公表について

- 集計結果を教務委員会、教育課程審議会、教授会等で報告し、教育活動の改善に反映させる。
- 本学WEBサイトで公表する。

設問について

■ 卒業生アンケート調査

- ①「学士力」(「学修成果」に含まれる要素)について、どの程度身に付いた実感があるか
- ②学科及びコース・フィールドの「学修成果」について、どの程度身に付いた実感があるか

選択肢	点数
身に付いた	4点
どちらかというと身に付いた	3点
どちらかというと身に付かなかった	2点
身に付かなかった	1点

「学士力」の成長実感

【文科省が指針として示す「学士力」】

※「学士課程教育の構築に向けて」(審議のまとめ)より抜粋

1. 知識・理解

専攻する特定の学問分野における基本的な知識を体系的に理解するとともに、その知識体系の意味と自己の存在を歴史・社会・自然と関連付けて理解する。

- (1) 多文化・異文化に関する知識の理解
- (2) 人類の文化、社会と自然に関する知識の理解

2. 汎用的技能

知的活動でも職業生活や社会生活でも必要な技能

- (1) コミュニケーション・スキル・・・日本語と特定の外国語を用いて、読み、書き、聞き、話すことができる。
- (2) 数量的スキル・・・自然や社会的事象について、シンボルを活用して分析し、理解し、表現することができる。
- (3) 情報リテラシー・・・ICTを用いて、多様な情報を収集・分析して適正に判断し、モラルに則って効果的に活用することができる。
- (4) 論理的思考力・・・情報や知識を複眼的、論理的に分析し、表現できる。
- (5) 問題解決力・・・問題を発見し、解決に必要な情報を収集・分析・整理し、その問題を確実に解決できる。

3. 態度・志向性

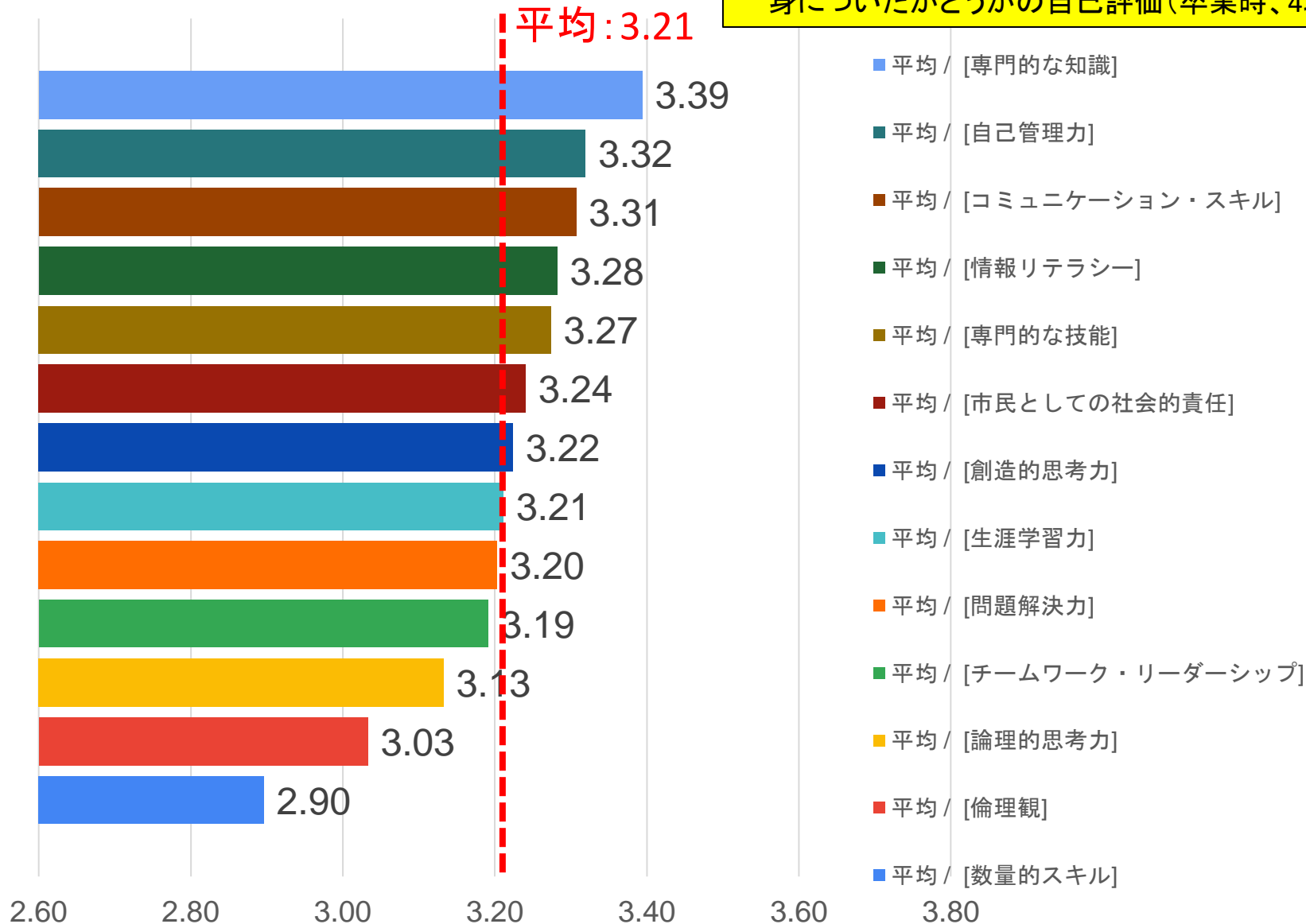
- (1) 自己管理能力・・・自らを律して行動できる。
- (2) チームワーク、リーダーシップ・・・他者と協調・協働して行動できる。また、他者に方向性を示し、目標の実現のために動員できる。
- (3) 倫理観・・・自己の良心と社会の規範やルールに従って行動できる。
- (4) 市民としての社会的責任・・・社会の一員としての意識を持ち、義務と権利を適正に行使しつつ、社会の発展のために積極的に関与できる。
- (5) 生涯学習力・・・卒業後も自律・自立して学習できる。

4. 統合的な学習経験と創造的思考力

これまでに獲得した知識・技能・態度等を総合的に活用し、自らが立てた新たな課題にそれらを適用し、その課題を解決する能力

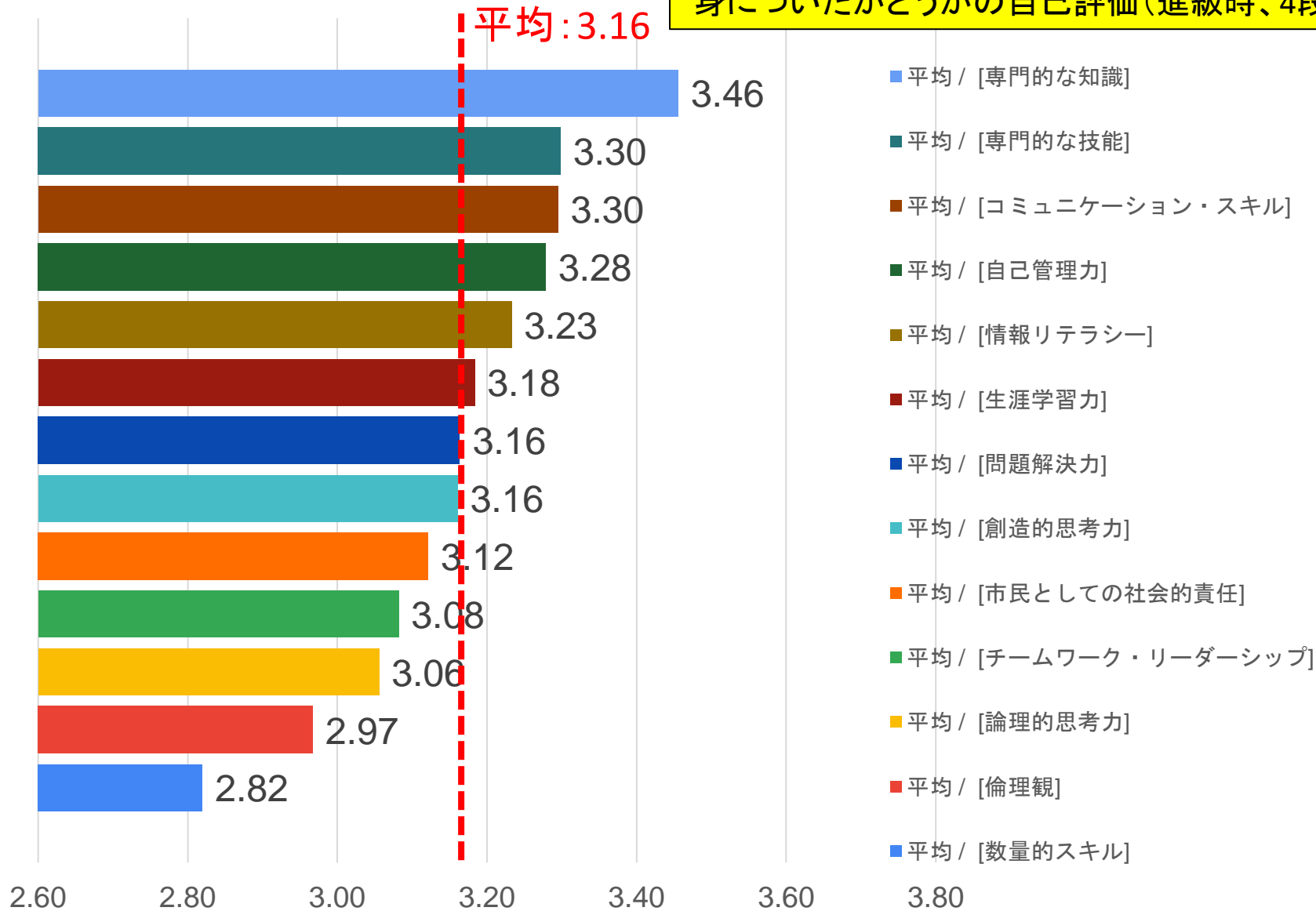
2年生「学士力」の平均値(全体)

身についたかどうかの自己評価(卒業時、4段階)



1年生「学士力」の平均値(全体)

身についたかどうかの自己評価(進級時、4段階)



平均点が高かった「学士力」(学科別)

身についたかどうかの自己評価(1・2年合計、4段階)

■「学士力」順位学科別

※()内は昨年順位

順位/ 学科	B	L	P	全体
1	専門的な知識(2)	専門的な知識(2)	専門的な知識(1)	専門的な知識(1)
2	情報リテラシー(6)	コミュニケーション・スキル(4)	専門的な技能(2)	コミュニケーション・スキル(2)
3	コミュニケーション・スキル(1)	自己管理能力(1)	自己管理能力(4)	自己管理能力(3)
4	自己管理能力(4)	情報リテラシー(9)	創造的思考力(6)	専門的な技能(5)
5	専門的な技能(7)	専門的な技能(7)	市民としての社会的責任(9)	情報リテラシー(8)

※「情報リテラシー」が前年に比べ上昇、オンライン授業実施の影響？

平均点が低かった「学士力」(学科別)

身についたかどうかの自己評価(1・2年合計、4段階)

■「学士力」順位学科別

※()内は昨年順位

順位/ 学科	B	L	P	全体
9	創造的思考力(12)	問題解決力(10)	チームワーク・リーダーシップ(5)	市民としての社会的責任(6)
10	チームワーク・リーダーシップ(3)	チームワーク・リーダーシップ(3)	論理的思考力(10)	チームワーク・リーダーシップ(4)
11	論理的思考力(10)	論理的思考力(11)	情報リテラシー(12)	論理的思考力(11)
12	倫理観(11)	倫理観(12)	倫理観(11)	倫理観(12)
13	数量的スキル(13)	数量的スキル(13)	数量的スキル(13)	数量的スキル(13)

※「チームワーク・リーダーシップ」下落、オンライン授業実施の影響？

※「数量的スキル」自己評価低い

「学士力」まとめ(教育課程検討に向けて)

■どの学科においても「数量的スキル」の自己評価は低い

■「数量的スキル」→計算力(基礎学力の一部)?

■数量的スキルを扱うと思われる共通科目数は少ない(キャリアベーシック(SPI)、基礎教養のための数学演習)

学科別「学修成果」 の成長実感

まとめ(教育課程検討に向けて)

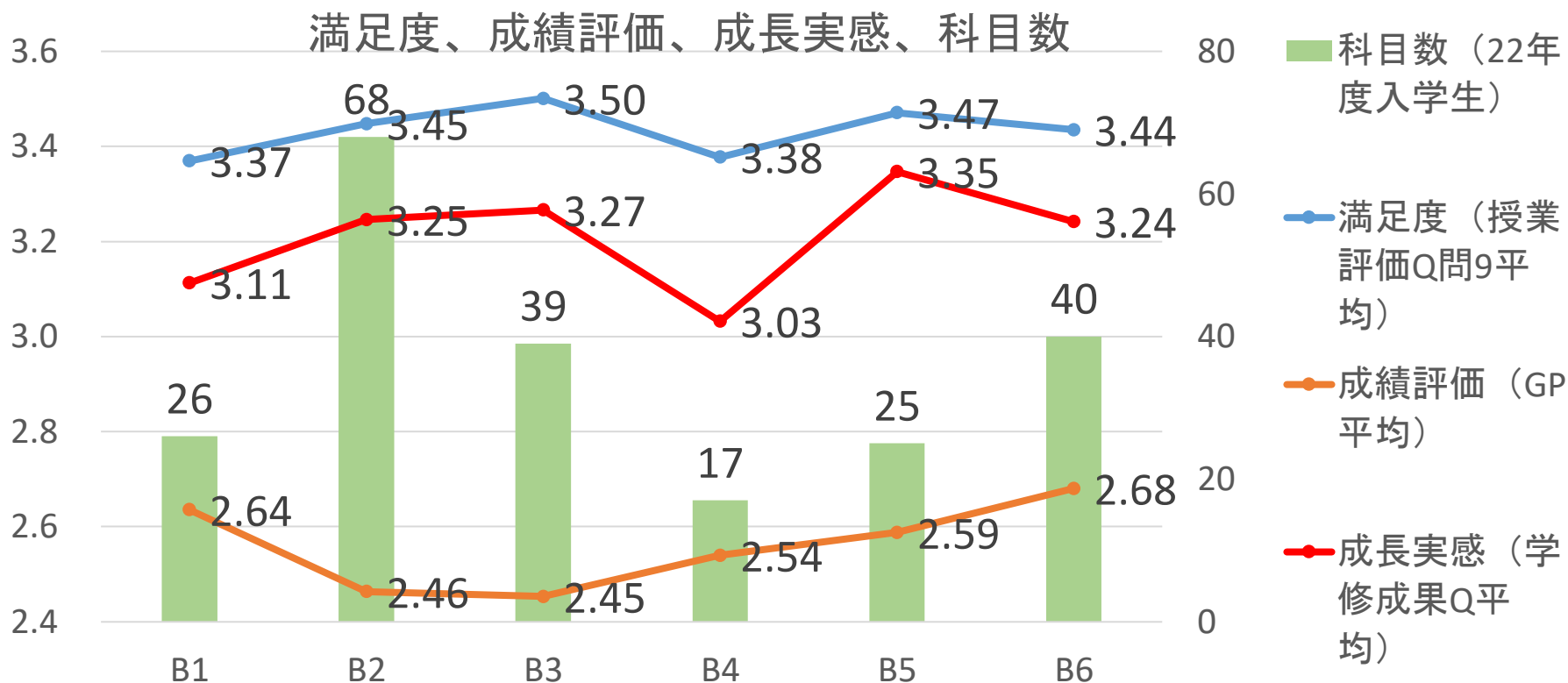
■教育課程改善のために
(どのようにカリキュラム評価を行うか)

- 学修成果に関するアンケート結果
- GP平均値
- 授業評価アンケート結果(満足度)
- 科目数

の「学修成果」別の調査結果と合わせて比較

まとめ(教育課程検討に向けて)

■【B】2021年度 授業評価アンケート(満足度)、GPとの比較

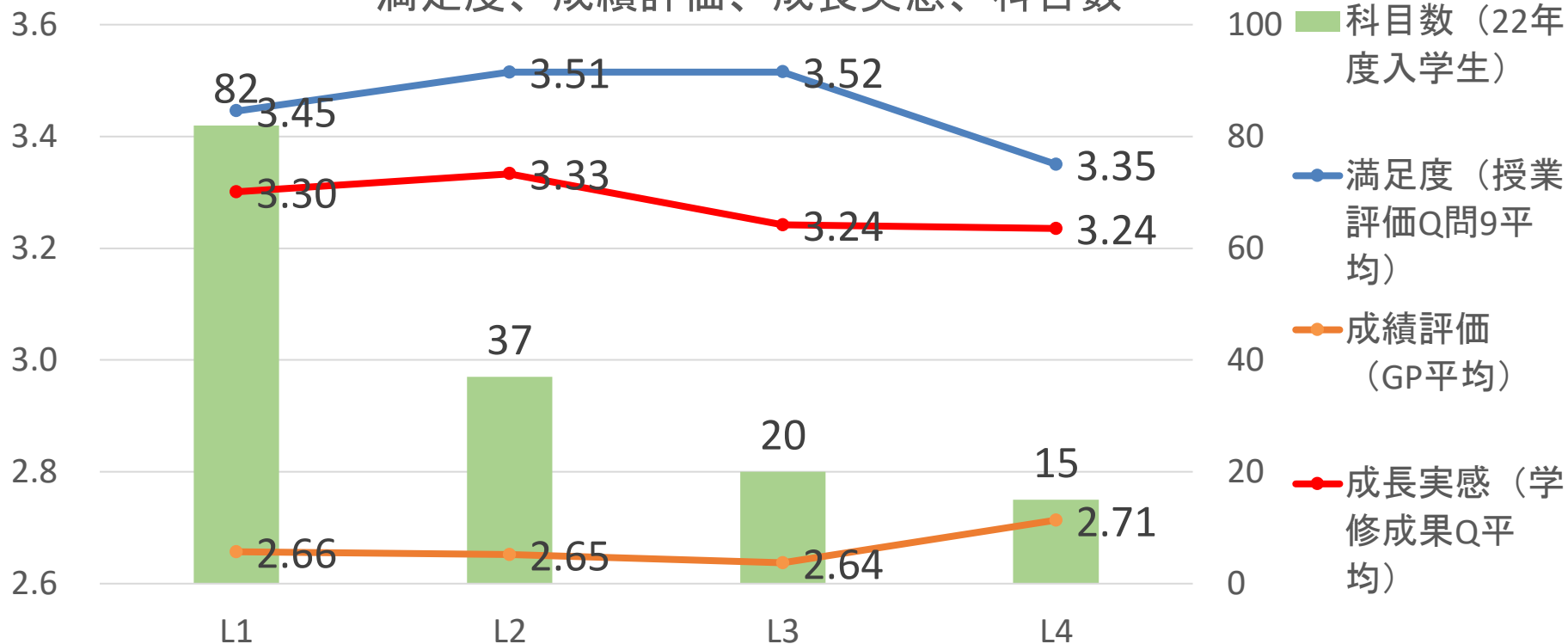


	B1	B2	B3	B4	B5	B6	平均
満足度 (授業評価Q問9平均)	3.37	3.45	3.50	3.38	3.47	3.44	3.43
成績評価 (GP平均)	2.64	2.46	2.45	2.54	2.59	2.68	2.56
成長実感 (学修成果Q平均)	3.11	3.25	3.27	3.03	3.35	3.24	3.21
全平均	3.04	3.05	3.07	2.98	3.14	3.12	3.07
科目数 (22年度入学生)	26	68	39	17	25	40	35.8

まとめ(教育課程検討に向けて)

■【L】2021年度 授業評価アンケート(満足度)、GPとの比較

満足度、成績評価、成長実感、科目数

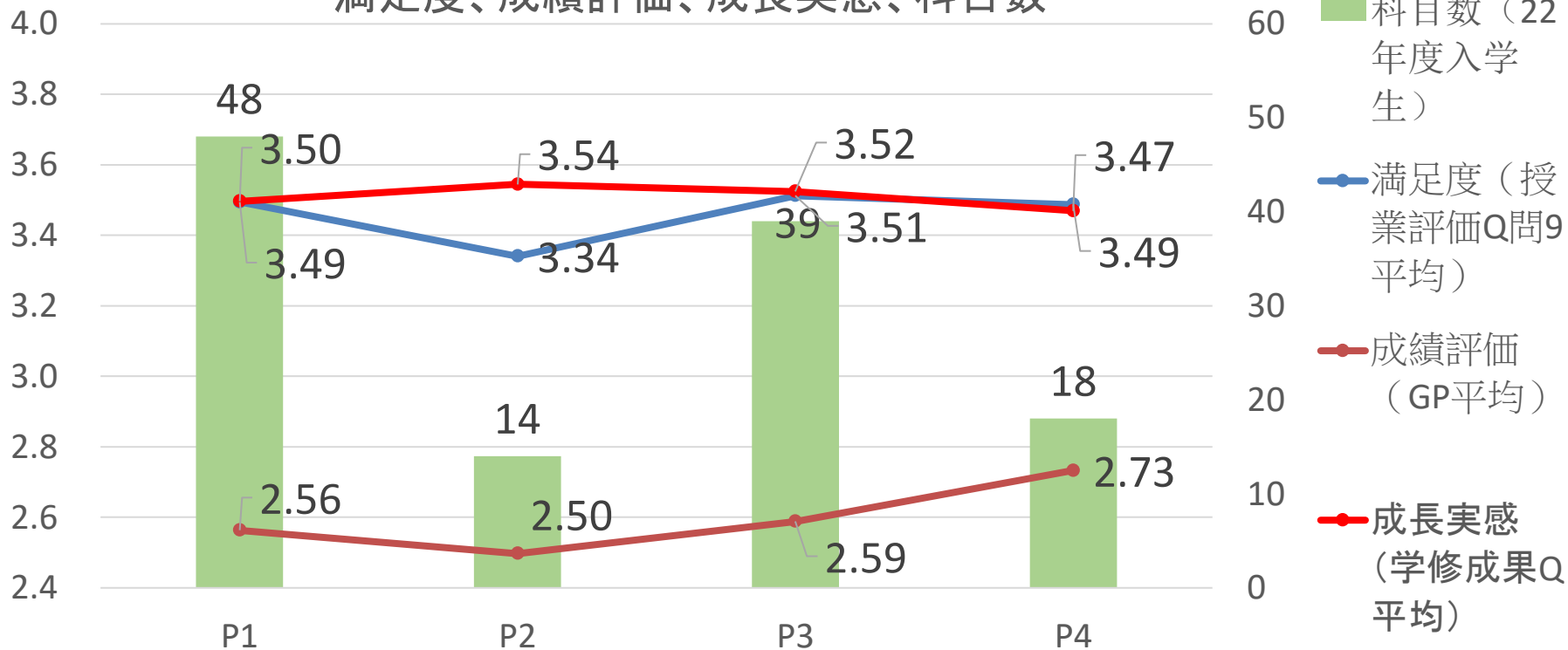


	L1	L2	L3	L4	平均	
満足度 (授業評価Q問9平均)		3.45	3.51	3.52	3.35	3.46
成績評価 (GP平均)		2.66	2.65	2.64	2.71	2.66
成長実感 (学修成果Q平均)		3.30	3.33	3.24	3.24	3.28
全平均		3.13	3.17	3.13	3.10	3.13
科目数 (22年度入学生)		82	37	20	15	38.5

まとめ(教育課程検討に向けて)

■【P】2021年度 授業評価アンケート(満足度)、GPとの比較

満足度、成績評価、成長実感、科目数

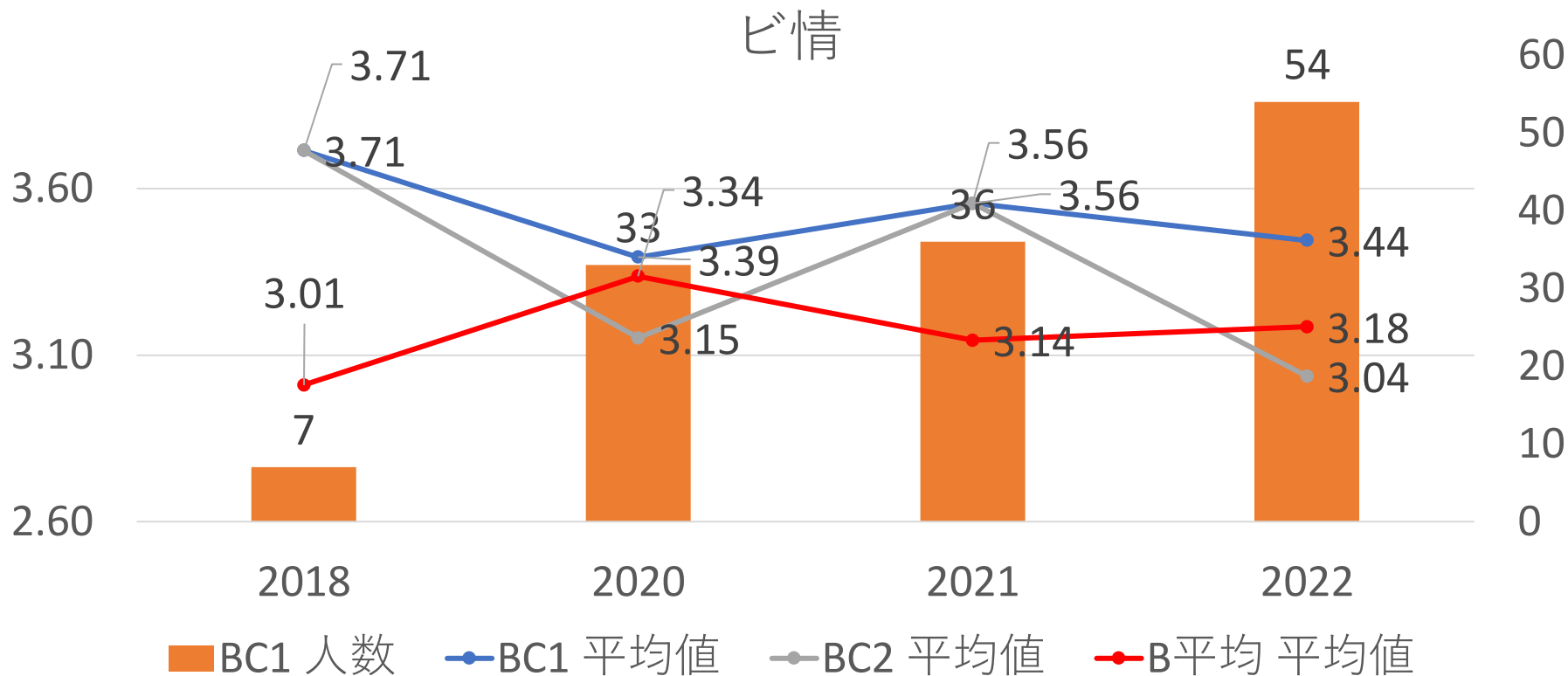


	P1	P2	P3	P4	平均
満足度 (授業評価Q問9平均)	3.49	3.34	3.51	3.49	3.46
成績評価 (GP平均)	2.56	2.50	2.59	2.73	2.60
成長実感 (学修成果Q平均)	3.50	3.54	3.52	3.47	3.51
全平均	3.18	3.13	3.21	3.23	3.19
科目数 (22年度入学生)	48	14	39	18	29.8

コース・フィールド別 「学修成果」の成長実感

「学修成果」の平均値（コース・フィールド別）

身についたかどうかの自己評価（4段階）

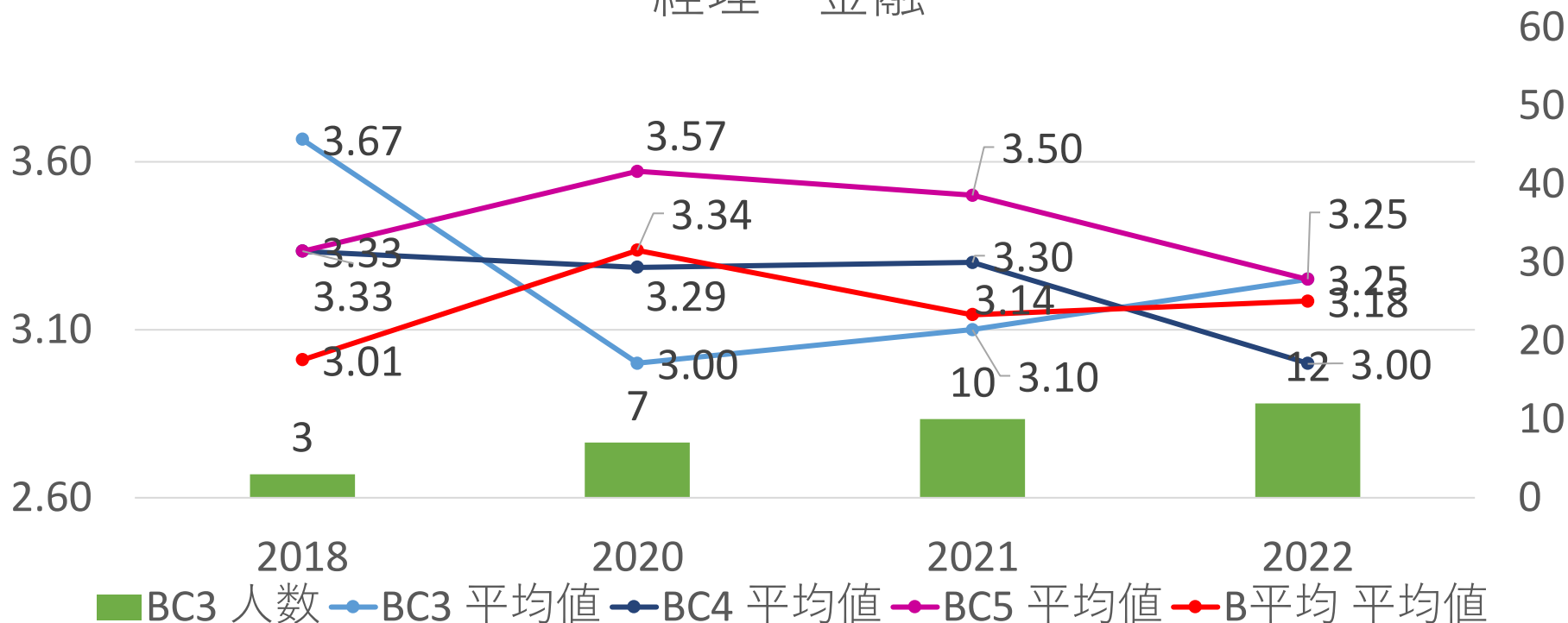


BC1	データ入力、資料作成など事務職に求められる基礎的な技能及び各種データを分析し発信する能力を身につけている。
BC2	「ビジネス能力検定」や「MOS」の取得に向けた学習を通して、マネジメントやビジネスの知識と高いパソコンスキルを身につけている。

「学修成果」の平均値(コース・フィールド別)

身についたかどうかの自己評価(4段階)

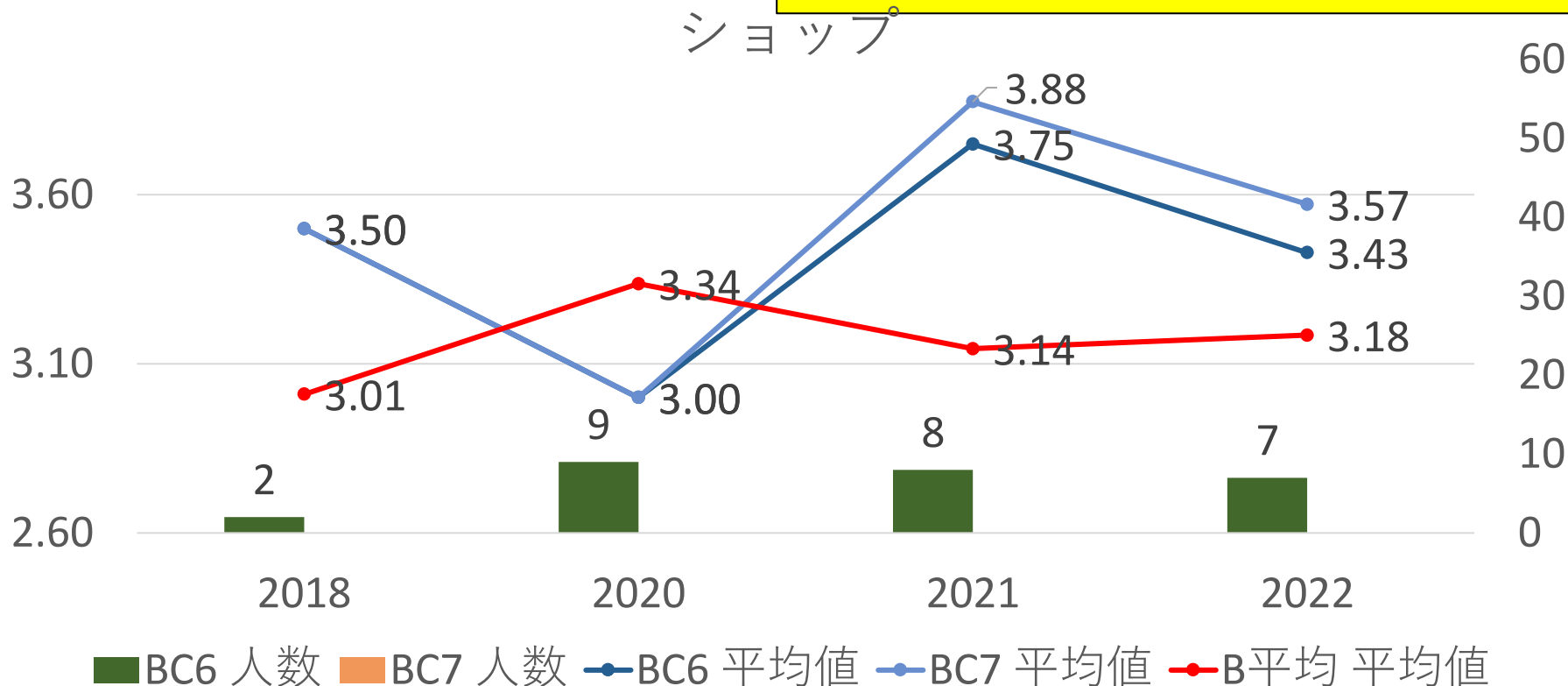
経理・金融



BC3	財務諸表の作成・読解ができる。
BC4	資金運用・計画に関する専門能力を身につけている。
BC5	「簿記検定」や「ファイナンシャル・プランニング技能検定」の取得に向けた学習を通して、高い計算能力と社会経済に関する幅広い教養を身につけている。

「学修成果」の平均値（コース・フィールド別）

身についたかどうかの自己評価（4段階）

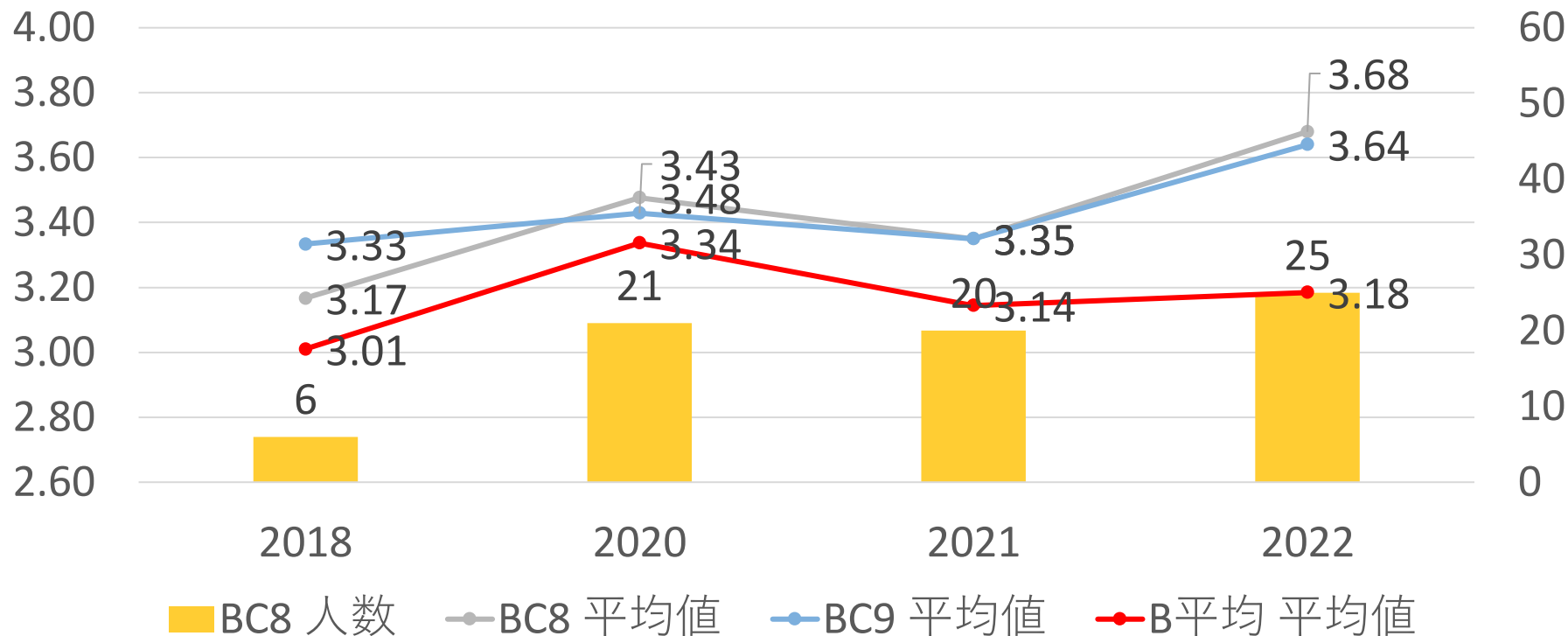


BC6	流通・販売業、各種サービス業、カウンター営業、商品企画、バイヤー、ショップ経営などに必要な技能及びマーケティングの知識や経営手法を身につけている。
BC7	「リテールマーケティング(販売士)検定」や「サービス接客検定」の取得に向けた学習を通して、販売の実践的能力を身につけている。

「学修成果」の平均値(コース・フィールド別)

身についたかどうかの自己評価(4段階)

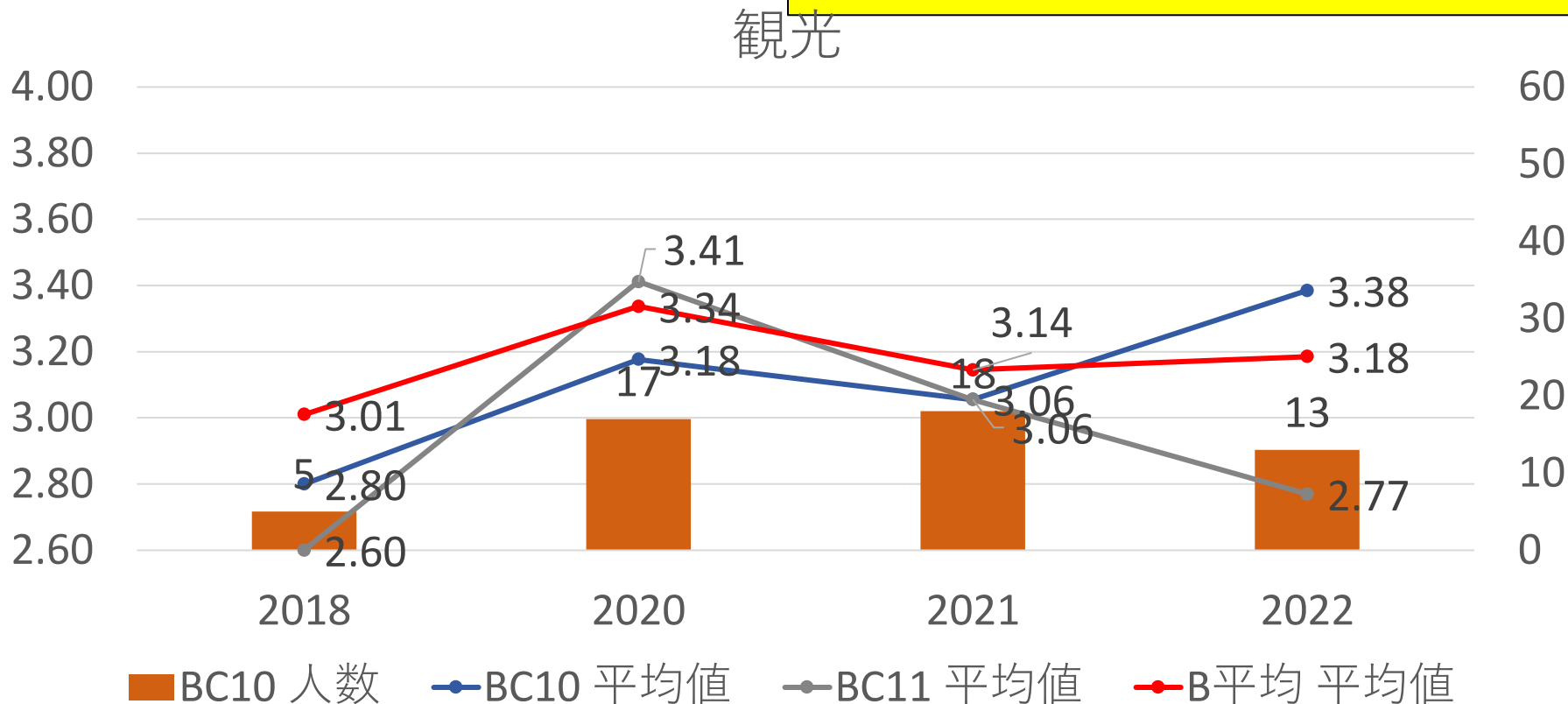
オフィスワーク



BC8	一般事務、受付・窓口業務、秘書など 様々な業種・職種 で活躍できる 実践的能力 を身につけている。
BC9	「秘書技能検定」や「コミュニケーション検定」の取得に向けた学習を通して、 高いビジネスコミュニケーション能力 を身につけている。

「学修成果」の平均値(コース・フィールド別)

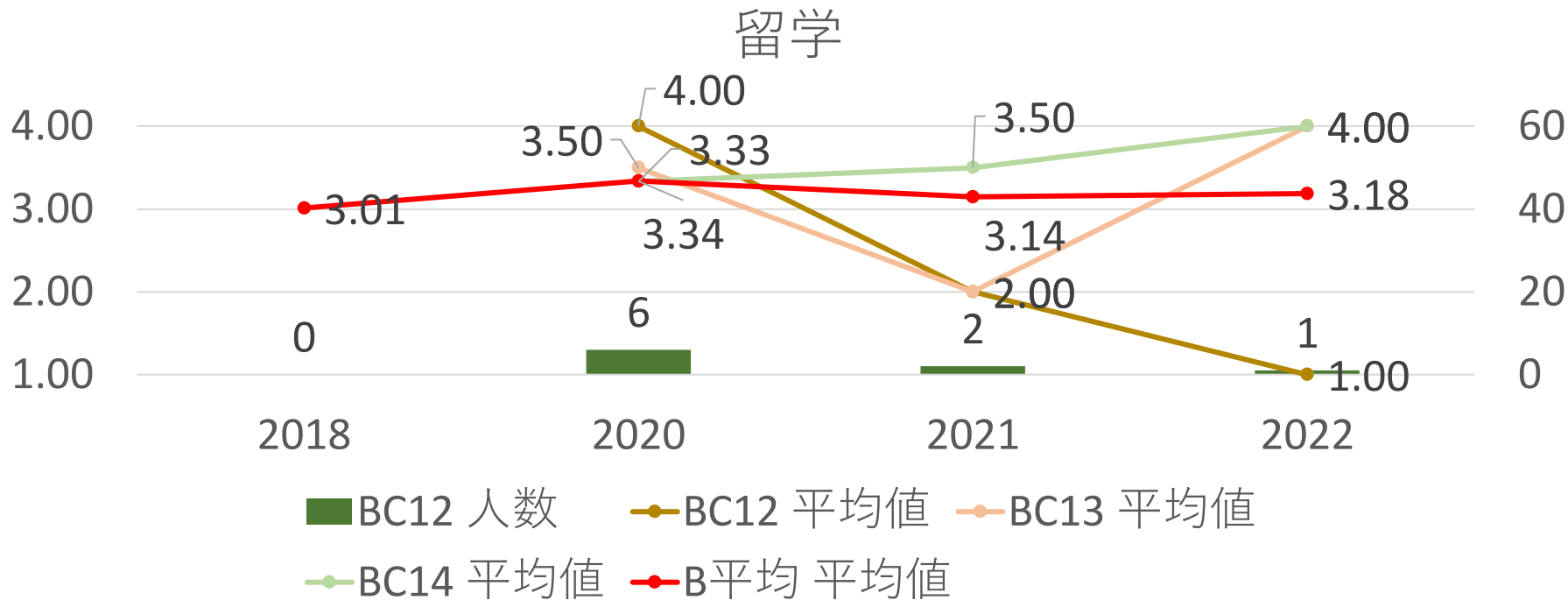
身についたかどうかの自己評価(4段階)



BC10	旅行・ホテル・テーマパークなど、観光関連業界に関する専門知識と語学力を身につけている。
BC11	「国内旅程管理主任者」や「国内旅行業務取扱管理者」の資格取得に向けた学習を通して、実践的な知識や技能を身につけている。

「学修成果」の平均値(コース・フィールド別)

身についたかどうかの自己評価(4段階)

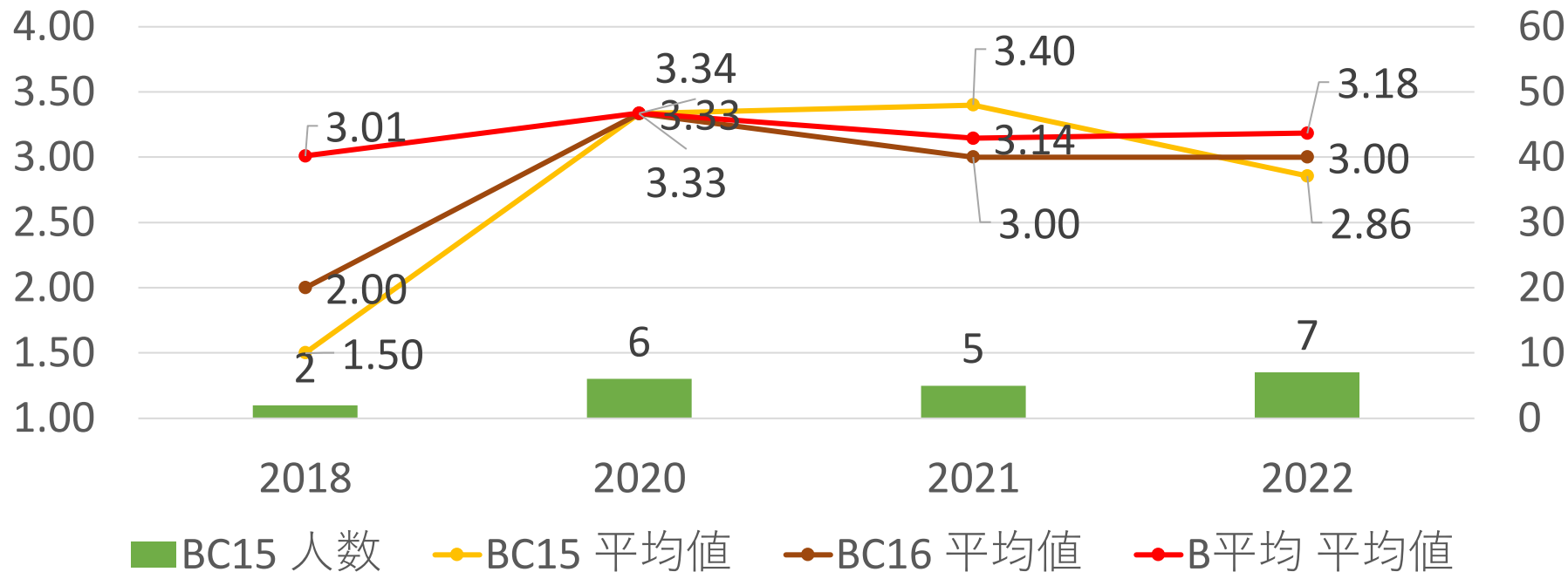


BC12	1年次後期3ヶ月間のオーストラリア国立ニューカッスル大学への留学を通して、 実践的な英語力と国際感覚 を身につけている。
BC13	旅行・ホテル・テーマパークなど、 観光関連業界に関する専門知識 を身につけている。
BC14	「国内旅程管理主任者」や「旅行業務取扱管理者」の資格取得に向けた学習を通して、 実践的な知識や技能 を身につけている。

「学修成果」の平均値(コース・フィールド別)

身についたかどうかの自己評価(4段階)

プログラミング

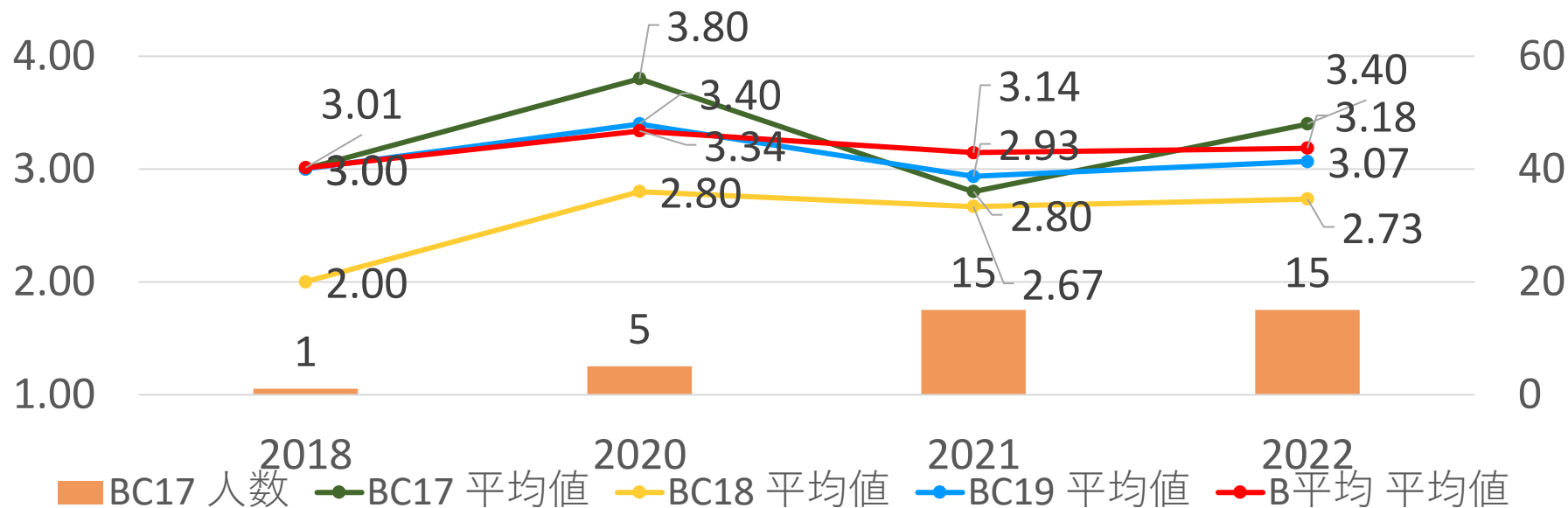


BC15	プログラマーやシステムエンジニアに求められる IT活用技術 を身につけている。
BC16	多様なオフィス現場でIT機器とソフトウェアを駆使できる能力及び協働して物事を進められる コミュニケーション能力 を身につけている。

「学修成果」の平均値（コース・フィールド別）

身についたかどうかの自己評価（4段階）

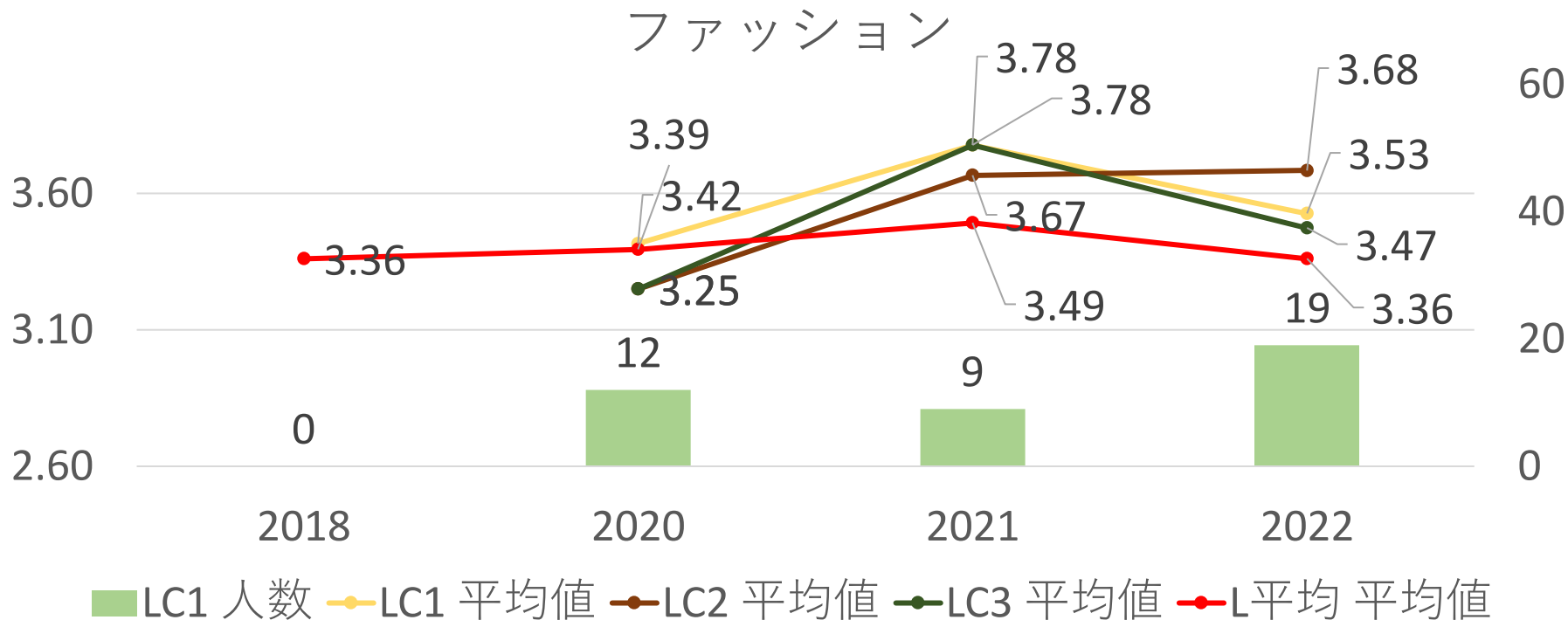
メディアデザイン



BC17	WEB、CG、映像などのメディアデザインの素養及びITを活用するコラボレーション能力を身につけている。
BC18	PCTラブルに対応できるサポート技能を身につけている。
BC19	インフォグラフィックスなどビジュアルを用いたわかりやすい情報伝達のための知識を身につけている。

「学修成果」の平均値(コース・フィールド別)

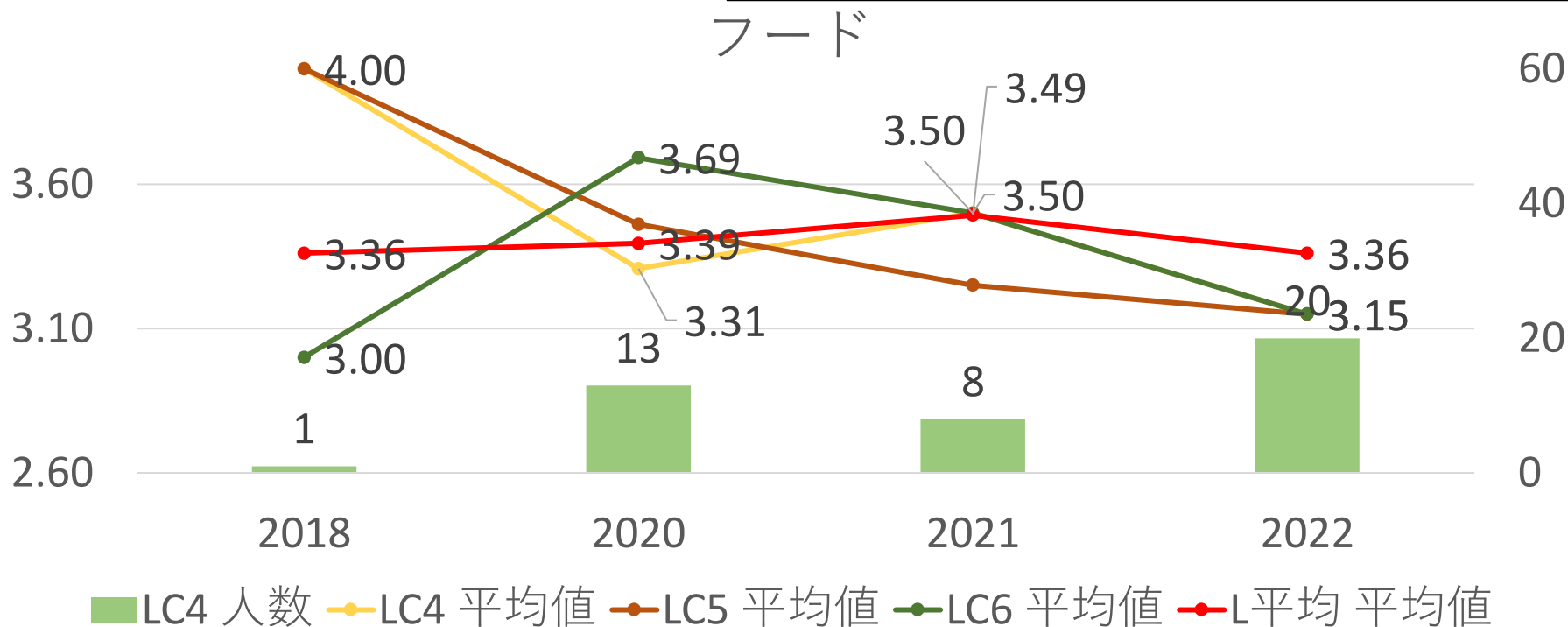
身についたかどうかの自己評価(4段階)



LC1	アパレル業界で働くために必要な知識を身につけている。
LC2	販売職・サービス職に必要なおもてなしの心、ビジネスマナーを身につけている。
LC3	チームで働くための協調性、様々なお客様に対応できる対応力などを身につけている。

「学修成果」の平均値(コース・フィールド別)

身についたかどうかの自己評価(4段階)

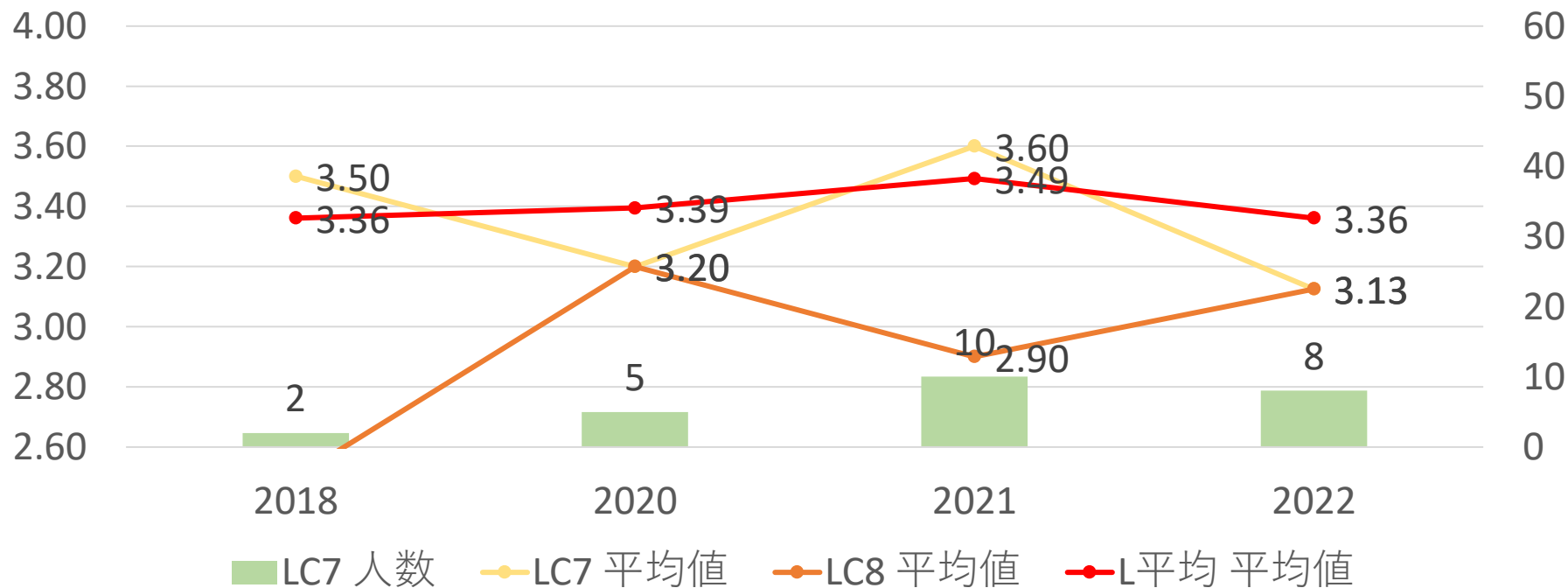


LC4	栄養、調理と食文化、食の安全など、幅広い知識と技能を修得し、魅力ある食生活を提案できる。
LC5	健康な生活をプロデュースするための総合的な知識を修得している。
LC6	多彩な学びを通じ、ホスピタリティ、コミュニケーション能力、創造性を身につけている。

「学修成果」の平均値（コース・フィールド別）

身についたかどうかの自己評価（4段階）

インテリア



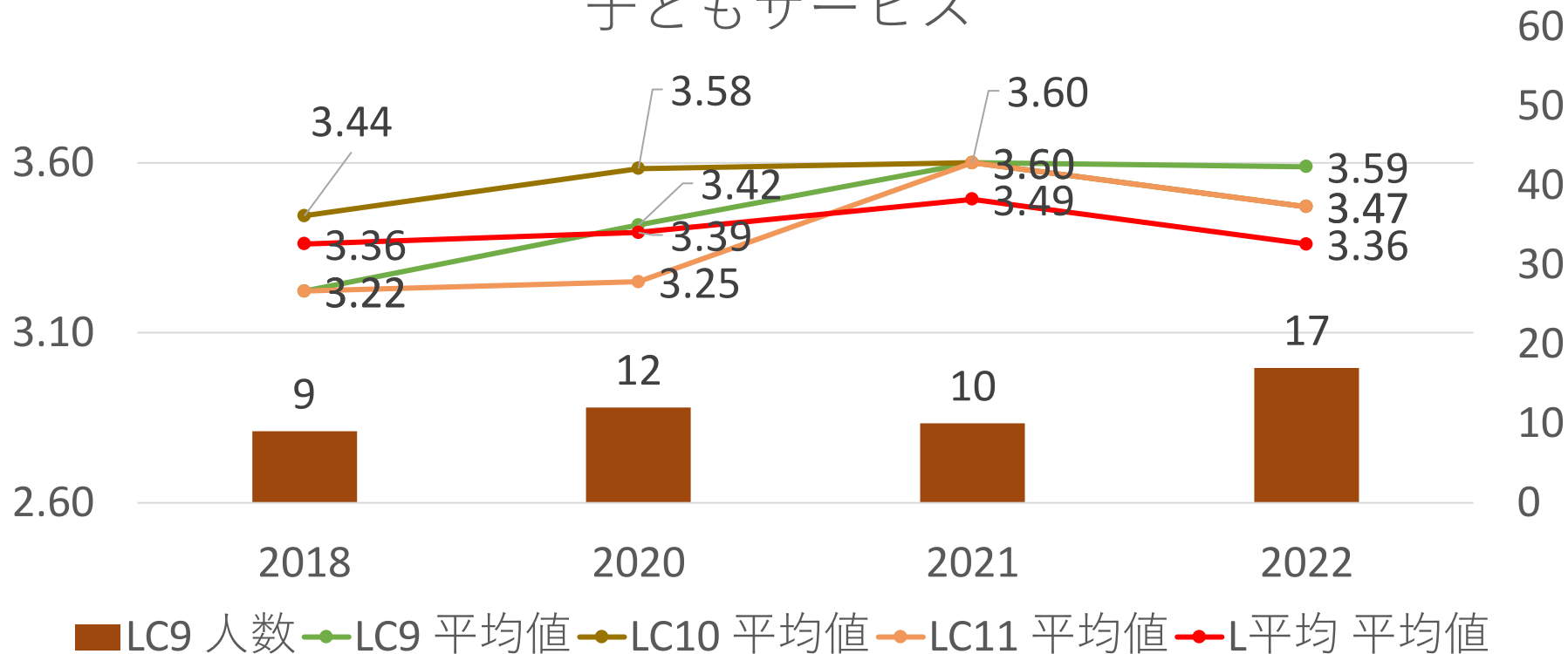
LC7 快適な住まいや安全な住環境の知識を身につけている。

LC8 戸建て住宅、マンションなど生活空間の企画・設計ができる。

「学修成果」の平均値（コース・フィールド別）

身についたかどうかの自己評価（4段階）

子どもサービス

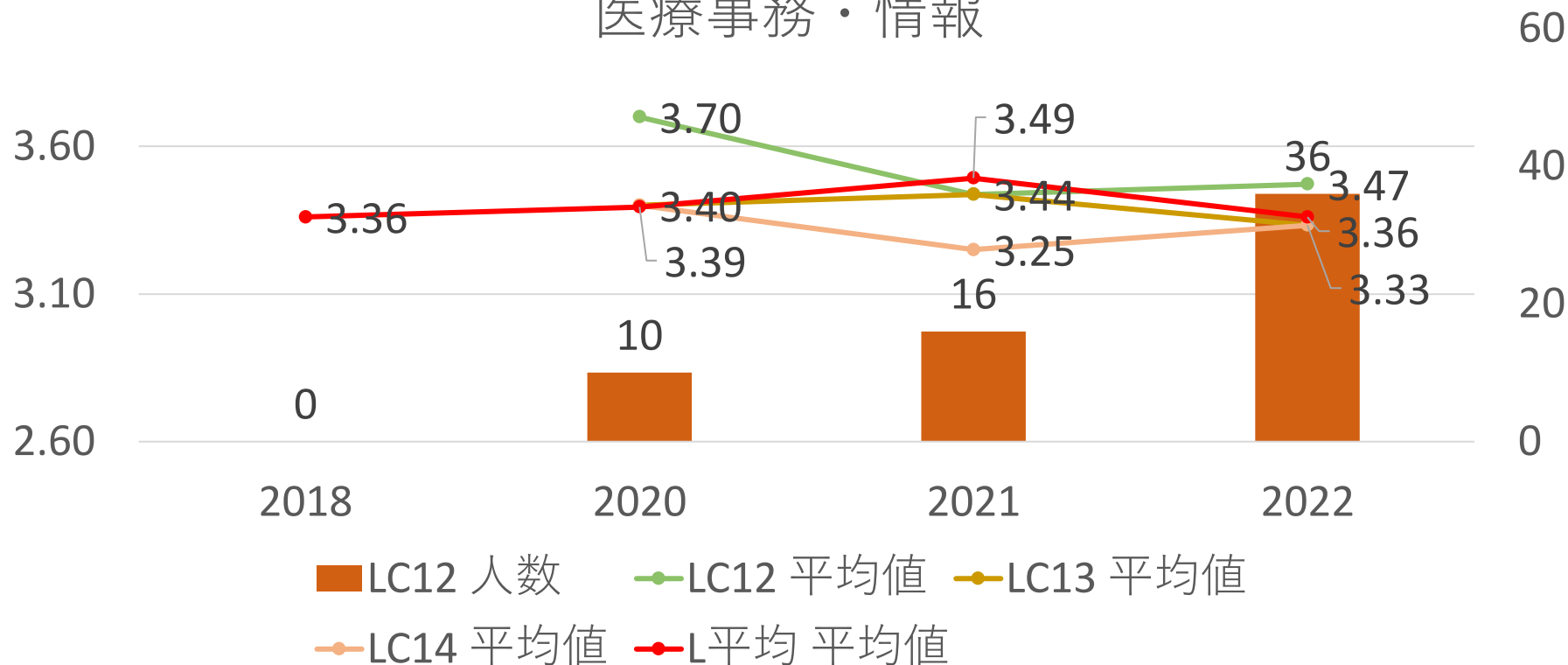


LC9	現代における子どもと家族のあり方を総合的に理解している。
LC10	子どもとその家族に対するコミュニケーションスキルを身につけている。
LC11	子どもと家族を対象とした仕事に関する知識、技能を習得している。

「学修成果」の平均値（コース・フィールド別）

身についたかどうかの自己評価（4段階）

医療事務・情報



LC12	医療事務職に必要な 知識と技能 を身につけている。
LC13	医療情報に関する 基礎知識及び技術 を身につけている。
LC14	医療従事者に求められる ホスピタリティ、コミュニケーション能力 を身につけている。

まとめ(教育課程検討に向けて)

■2021年度 授業評価アンケート、GP、科目数を踏まえて

- 成長実感と満足度(学生対象のアンケート)では、同様のグラフ形状→それぞれの学修成果と科目の対応について、学生の理解とカリキュラムマップでの分類がある程度一致していると考えられる。
- ・特徴がみられた部分について、各学科で分析を

まとめ(教育課程検討に向けて)

■改善に向けた着眼点の例

- 授業の到達目標について学生が正しく理解しているか？学生が目標に到達できる授業内容になっているか？開講科目数は適切か？等

履修できる(開講できる)科目数・単位数が限られている中で、それぞれの学修成果についてどのように割り振るか

学修成果の表現は適切か(評価・測定しやすい単位になっており、学生も理解し自己評価できるようになっているか)

まとめ(教育課程検討に向けて)

- 学修成果と科目の関連性は「カリキュラムマップ」により可視化されている
- 教育課程の策定に活用していただきたい
- 必要に応じ、科目レベルの成績分布やアンケート結果データを各学科・センターへ提供

まとめ(教育課程検討に向けて)

■「学修成果」を中心にした「カリキュラム評価」について、枠組み(学修成果の整備、カリキュラムマップの整備、調査ツールの整備)を整備中

⇒複数の調査結果について「学修成果」を中心に調査・分析を行い、カリキュラム改善に資するデータ提供を目指したい

→調査・集計の精度を高め、カリキュラム見直しを含めたサイクルを繰り返すことが重要

EOF